

消音マット F・E シリーズ施工手順

施工前の準備

1. 接着面のゴミ・ホコリ・湿気等をよく取り除いてください。
2. 鉄骨階段はサビ止め塗装を行いますが、後工程の塗装は消音マットの取り付け部を避けてください。
※消音マットの接着剤が塗料を溶かす可能性があります。
3. 施工はサビ止め塗装後、完全に乾燥していることを確認してから施工してください。
(リフォームの場合には、サビが発生していればサビを除去した後、必要に応じてサビ止め剤で処理してください。また、付着物や突起物がある場合は除去してください。)
4. ステップ部の材質がプレキャストコンクリート、メース板、モルタル地等の水分を含みやすい下地の場合、水分の蒸発によりはく離が起る可能性があるため、必ずプライマー等で下地を処理してください。

準備するもの

- ほうき(掃除用ブラシ、はけ他)、雑巾
- カッターナイフ、カッティングスケール
- スケール(巻尺、曲尺他)
- 圧着用ローラー、ハンマー
- コーキングガン、マスキングテープ、ヘラ
- 安全保護具
(必要に応じて作業着、安全靴、作業用手袋他)

※施工にあたってはいくつか注意点があります。事前に
⚠ 製品取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。

使用材料

- サンダム®消音マットE・F
- 接着剤
- 水の侵入による、はく離防止や防錆のために、変性シリコン系シーリング剤を使用してください。

備考

1. F・Eシリーズ施工の際の接着剤はゴム系接着剤をおすすめします。
(当社ではボンドG11Z(3kg/1缶 コニシ株式会社)を別途用意しておりますので、ご相談ください。)

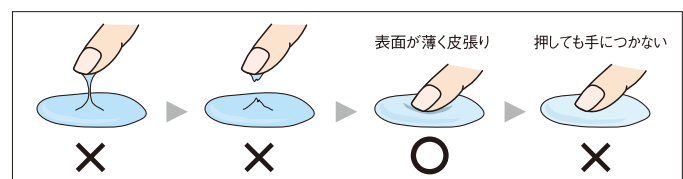
G11Z(3kg/1缶)使用量目安

ESタイプ FSタイプ	EWタイプ FWタイプ	EOタイプ	FOタイプ
200~250g	300~400g	900~1200g	700~900g

オープンタイム目安

	オープンタイム	張り合わせ 可能時間
夏季	10~15分	40~45分
冬季	15~20分	15~20分

接着剤乾燥程度のイメージ



2. 消音マットの接着面への水の浸入を防ぐため、施工後は必ず消音マット外周に変性シリコン系シーリング剤でシーリングを施してください。なお、消音マット相互のつけ合わせ接合部には目地代をとり、確実にシーリング剤が充填できるようにしてください。(施工時期によって目地代の幅を8~10mmの範囲で調整してください。シーリングの切れる原因となることがあります。)

シーリングについては、BTシリーズも同様です。

3. 施工下地および接着剤については、事前に充分検討してください。

施工手順

1 清掃・乾燥



施工面のゴミ、ホコリ等を取り除き、下地が十分に乾燥していることを確認してください。

2 プレカット



消音マットを階段や踊り場の形状に合わせてカットしてください。
※水切りのため、ステップの両端部から壁面まで20mm以上の隙間を確保してください。

3 目粗し



接着剤のノリを良くするために階段側を目粗ししてください。
※ケズリかすやホコリが残っていると粘着力が低下しますので、十分クリーニングを行ってください。

4 仮置き・マーキング



裁断した消音マットを規定の位置に仮置きし、納まりを確認した後、下地に位置決め用のマーキングを記してください。
※目地部分は8~10mm程度の隙間を確保してください。

5 接着剤塗布



クシベラ、刷毛等で接着剤を階段、消音マットの双方に塗布してください。塗布後は必ずオープンタイムを設けてください。(P6参照)

6 貼り合わせ



マーキングに合わせて、段バナから蹴込み方向にローラー等で圧着してください。

7 シーリング



マスキングテープを貼った後、消音マット全周囲・目地部分にシーリングを打ってください。

8 仕上げ



マスキングテープを剥がし完成です。

9 完成



仕上げ後は本体の接着及びシーリング施工の有無を再確認ください。不備があった場合、つまずいたり転倒する原因となることがあります。